

東日本大震災の津波で児童・教職員計84人が犠牲になった石巻市の震災遺構

「大川小」の展示施設「大川震災伝承館」で、赤いランドセルが目に残った。

持ち主は4年生だった鈴木巴那さん。当時(9)も行方が分かっていない。ランドセルは津波で校舎2階の教室から屋根に打ち上げられた。大川小で今年6月にあった宮城県教委の

した遺族は展示の不十分さを口にした。

伝承館での他の実物展示は時計と一輪車の2点と少なく、震災前の児童らの姿を想像しづらい。泥の跡がうっすら残る巴那さんのランドセルはかつて学校を駆け回っていた子どもたちの

北から

宮城 児童の息遣い伝える

新規採用教員向け研修会に

合わせ、両親が設置。地元(石巻総局・松村真一郎)

の青少年健全育成団体が特選に選んだ巴那さんの生活標語「しぜんゆたかな大川に みんなで咲かそうえがおの花を」も添えた。

大川小が震災遺構として一般公開され、今月18日で1年を迎えた。「後世に分かりやすく伝える資料が少ない」「市の積極性が見られない」。節目を前に取材



震災前に巴那さんが背負っていたランドセル